

人権問題講演会

「ハンセン病問題について考えよう ～ハンセン病回復者・家族の生き方を通して学ぶ～」

ハンセン病がどんな病気なのか、どのような偏見・差別・人権問題があったのか。国に対してどのような訴訟が起こされたのか、今後の課題についてなど、回復者やご家族の生き方を通して学びます。



【講師】

やましろう きよしげ
山城 清重さん

かとう めぐみ
加藤 めぐみさん

《プロフィール》

■山城 清重さん（ハンセン病関西退所者原告団いちろうの会 共同代表）

1942年、島根県生まれ。小学4年生の時にハンセン病と診断され、長島愛生園へ入所。1962年に退所し、京都や大阪のパチンコ店で働く。両親やきょうだいは一度も面会に来てくれなかったことから、捨てられたと思って生きてきた。でもハンセン病家族訴訟をきっかけに、家族も差別を受けてきたということを実態として知ることになり、故郷へ一度帰ってみようと思った。

2019年、57年ぶりに故郷に帰り、兄と再会。現在は電話で時々話をしたり、その後も何度か故郷を訪れたりしている。

■加藤 めぐみさん（社会福祉法人大阪府済生会 ハンセン病回復者支援センター）

1954年、京都府生まれ。長女が脳性麻痺と診断され、大阪市内で障害児保育・教育運動に障害児の親の立場から関わる。

2008年よりハンセン病回復者支援センター非常勤職員となる。

👑 要申込



👑 参加無料

👑 手話通訳あり

👑 あま咲きコイン対象事業（50ポイント付与）

日時：2023年7月12日（水）午後2時～3時30分 ※受付：午後1時30分

会場：尼崎市立地域総合センター上ノ島 集会室（尼崎市南塚口町8丁目7-25）

定員：60人（先着）

申込期間：2023年6月19日（月）～定員に達するまで

申込方法：当センターへ来館・電話・ファクスにて受付いたします。

住所／尼崎市南塚口町8丁目7-25

電話／06-6429-7640

ファクス／06-6429-7644

土足厳禁

（備え付けのスリッパ
をご利用いただくか、
上履きをご持参ください。）

◎主催：立花中学校区人権教育・啓発推進会議

◎協賛：いくしま人権協会

本会は、立花中学校区における住民組織及び関係行政機関の代表者で構成されています。

立花中学校区住民の同和問題をはじめ、さまざまな人権問題に関する教育や啓発活動を推進しています。

尼崎市立地域総合センター上ノ島



人権問題講演会

【ファクス申込書】

ファクス：06-6429-7644

〒661-0012 尼崎市南塚口町8丁目7-25

尼崎市立地域総合センター上ノ島 あて

ふ	り	が	な	
お	名	前		
所	属	等		
住	所			
電	話	番	号	
フ	ァ	ク	ス	番
号				